



## 慈愛の種を 播きましよう

2002～2003年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区 — 佐野 孝  
ガバナー — 松谷 昊吉  
会長 — 佐野 勝栄  
会長エレクト — 渡辺 喜彦  
副会長 — 渋谷 正一  
幹事 — 荻根 澤隆雄  
副幹事 — 山田 富義  
S A A — 杉山 幸英

例会日 — 毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局 — 三条市旭町2-5-10  
三条信用金庫本店内  
例会場 — TEL 35-3311  
TEL 35-3477  
事務局 — FAX 32-7095  
E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

|         |          |
|---------|----------|
| 本日出席会員数 | 66名中 47名 |
| 先々週出席率  | 87.69%   |

### ゲスト

地域たすけあいネットワーク  
代表 吉川 静 様

### 先週のメイクアップ

7/8 三条南へ  
捧 賢一さん、成田秀雄さん  
7/9 三条北へ  
熊倉昌平さん、斎藤弘文さん

## 会長挨拶

松谷昊吉会長

今日は、先日やっこの第四分区の会長、幹事会が巻で開かれましたので、その御報告をさせていただきます。当日の議題は公式訪問とその前に行われる AG 協議会についての概要です。いずれも昨年度に比べても大きな変化はありません。協議会は 8 / 28 日通常の例会時間から始め、卓話の予定 1:00 から協議会として 2:30 までと考えております。尚、時間の関係上委員会のすべてから発表していただくかは検討中です。公式訪問につきましては、9 / 25 二洲楼さんで、例会は PM5:30 から始める予定ですが、その前に懇談会が 1 時間開かれます。この懇談会が 2 つに分かれておりまして、前半は従来通りの AG、会長、幹事にエレクト、副幹事、後半はその他にアクト会長、理事、各委員長を加えて実施されます。

この部分が今までと多少違う所です。

私共としては昨年 AG 協議会に出た質問に対して公式訪問の折に何も答えが無かったので、そのような

事のないように申し入れをいたしました。

本題の説明が終わり、懇談会に移り、AGから財団の話になった途端、不満が出て来ました。約1ヶ月半位前に地区のガバナー及び財団委員長の名前で要請書が届きました。

しかし、その文面は要請ではなく、強制、強要、脅迫的でありまして、金額の人数割当する、いついつまで入金するようとか、成績の良いクラブには表敬訪問し、達成率の悪いクラブには催促に行くというもので、財団本来の寄附のあり方と違うという事で、地区に対して抗議が各クラブから出されました。

その他にも、地区の大会の登録が50%から60%になった理由の説明がなく一方的である事、そうでなくとも出席の人数にかかわらず登録%は支払いしなくてはならない訳です。実際60%の人数全員参加したら会場に納まるはずがない訳で、今までの例から言っても、こういう経費の集め方も従来通りの方法から少し考える所に来ているものと思います。

又、大会のセレモニーがやたら多く無駄である。地区大会なら一日で、地区協議会なら午後から半日で、今の内容なら十分出来るのではないか、改革や変化を求めるなら、経費や時間がかからないようにシンプルに地区が率先垂範すべき。さらに月信についてはアクセスからプリントアウトするまでに1時間もかかり、必要としないものも多く元の形に戻すべき。

又、公式訪問も広大な地域を受けもつ外国ならともかく、日本においては従来の分区代理制で直接対話型の公式訪問の方がずっと合っているので、元に戻すべきというような意見が各クラブから堰を切ったように出ました。地区の総意としてAGから地区に申し入れてもらう事になりました。

こんな事は今までになかった事と思いますが、それぞれ自分のクラブを大切に思う所為かと思えます。幸いにも当クラブは現66名の所帯ですから、何とか運営しておりますが、20名、30名等のクラブに於きましては、こういう社会状況の中、クラブ運営は大変なものがあると思います。

地区と各クラブの間にもっと話し合いがあつていいと思います。

## 委員会報告

親睦委員会より

7月24日(水)18時30分から 於VIP  
今年度初の夜の例会 夏忘れビアパーティー(日本酒も用意します。)を開催します。奮ってご参加をお願いします。

社会奉仕委員会より

7月13日(土)朝の6時30分から  
一新橋の右岸田島寄りの所に集合

(雨で五十嵐川が増水した場合は、7月20日(土)

朝の6時30分に変更)

大勢の方の参加をお願いします。

職業奉仕委員会より

「わが社の社是・社訓」提出のお願い  
別紙のとおり

クラブ会報委員会より

「会員企業PRコーナー」掲載協力をお願いします

## ニコニコBOX



松谷晃吉さん

地域たすけあいネットワーク吉川様に感謝いたします。

渋谷正一さん

吉川静さんの卓話は人から人に伝わると思っています。よろしく。

丸山行彦さん

地域たすけあいネットワークの吉川さん、山谷さん、卓話ありがとうございます。

船越正夫さん

松谷会長、渋谷幹事、一年間ご苦労様です。

橋 直樹さん

中国に行ってきた際、髪を刈ってきました。言葉がうまく通じなく、ずいぶんスカッとしたヘアとなりました。女子社員に歌手の小田和正に似ていると言われました。ちなみに理髪料は中国元20円、日本円で300円でした。

石橋育於さん

本日都合により早退させていただきます。大変すみません。

近藤雄介さん

松谷会長、渋谷幹事、一年間頑張ってください。

川又嘉瑞範さん

松谷会長、渋谷幹事年度、一年間よろしくお願いたします。

五十嵐晋三さん

松谷さん、渋谷さん、一年間御苦労様です。

五十嵐総一さん

松谷年度、ご活躍をご期待申し上げます。又、一年よろしくご指導下さい。

荻根沢隆雄さん

ニコニコBOX一年間宜しくご協力をお願い致します。

都合により早退させていただきます。

7月3日分 ￥ 11,000

今年度累計 ￥ 79,000

## 卓話

### 地域たすけあいネットワーク

代表 吉川 静 様



今日は、地域たすけあいネットワークについてお話をさせていただく機会を与えてくださりまして、本当に有難うございます。

地域たすけあいネットワークの概要については、皆様方のお手元にお配りした資料をご覧ください。

して、これからの話を聞いて、関心を示された方また支援をしたいなと思っていただいた方は、是非入会をお願いいたします。

地域たすけあいネットワークは、平成11年の7月に設立した住民参加型在宅福祉サービスの活動をしているNPO法人です。

当時、安心して暮らしていくために何が必要なんだろうか、あるいは、既存のサービスで間に合っているのだろうか話し合っている中で、どうも自分達が年をとったときに本当に安心して暮らせないような気がして、なんなら自分達で作ろうよ、と30女の怖いもの知らずで声を掛け合って一歩を踏み出した会です。

困ったときって急ですね。困る人は高齢者とか障害者だけではなくて、だれでも困る場面があるのではないかということで、そんな困ったときに一昔前であれば隣近所で、あるいは地域のおせっかいなおばさんたちがいて、何かと助け合って、支えあってきたような気がしますが、今そういうことがとてもできにくい社会になってきた中で、そういうことであつたら自分達でもできるのではないかと、普通の市民でも身の丈でできることがあるかも知れない、できることから始めてみよう、私たちの住む地域にどんな福祉サービスがあつたら暮らしやすくなるのかと、手探りで、当時は勢いはあつたのですが、とても自信がなかった中で出発しました。

今年、3年を越えることができ、7月で4年目を迎えました。

最近全国で、いろんな悩みとか難題を抱える人達を支えたり、あるいは今までの行政では解決できなかったり、既存の概念だけでは解決できないような事柄に対して、問題解決に積極的に取り組んでいる市民活動が活発になってきていますけれども、地域たすけあいネットワークもそれら各地の活動と横の連携を取りながら、今まで頑張ってきました。

おかげさまで会そのものの成熟はもちろんの事、会員一人一人が成長してきていることを実感するこ

とができるようになりました。

県からの委託事業等や共催の事業なども来るようになり、財政的にわずかですが光も見えてきました。

土木事務所・保健所・テクノスクール・下田村から三条市だけが見て見ぬふりみたいな感じがある。

私たち一人一人の会員は本当に小さな力しかもっていませんが、生きていくのに自信のなさを認め合い、弱さをさらけ出しあうことで、そこに集まることが大きな力となって、今たすけあいネットワークが支えられています。

〈自分のかわり〉

ハウスメーカーに勤務していたが、母の容態が悪くなって退職。

実家に一人病人、目の前の夫の実家にも80を過ぎた両親がいて何かと頼られることが多くなり、負担に感じていた。

そんな自分の気持ちを通して子供をあてには出来ないことを悟ります。

いずれは介護の義務を果たさなければとは思っていても。

自分の環境を大きく変えないでやがて来る、その意味で介護保険制度は意義があるかなと……

それとは別に

また仕事で遅くなったりした時  
愛情入りのおかずを届けてくれるサービス  
帰るまでのあいだ子どもを見ていて欲しい  
そんな事を考えて働いていました。

そろそろ死なねば駄目なようだと本人が言うので  
なかなか死なないので働くしかない

一人ではぼちぼち内職程度のつもりで仕事を始めたのですが

高齢者、障害者の住宅整備資金

直接的な支援でないが故に

介護者の不満や不安

私でもできそう……責任と保障……システム化

2年後介護保険制度が始まる

市民活動をしている任意団体に法人格

住民の少し役に立ちたい、誰かの為になりたいという善意を形にすることでシステムにする。そこにビジネスの視点を少し加えたなら自立した活動と、安定した運営が望める。

立ち上げのメンバーの一人として加わつたのですが、よもや皆さんの前で話をするような立場になろうとは思いつかなかつたです。

途中いろいろありまして、今は理事長などという穴があつたら入りたいような肩書きをいただいておりますが、医療や福祉についての経験も、知識もない

中でずっと自信も無かったんですが、自分たちの活動は住民参加なんで、専門家である必要はない。

ただのおばさんでもいいのだと開き直って……

他といかにつなげていくか

主体的なかかわりにするには

会員数 430名  
提供者 月に60名  
利用者 80名

自分の10年後を見据えたとき

片麻痺になった自分

車椅子になった自分

痴呆で物を忘れていく不安と戦う自分

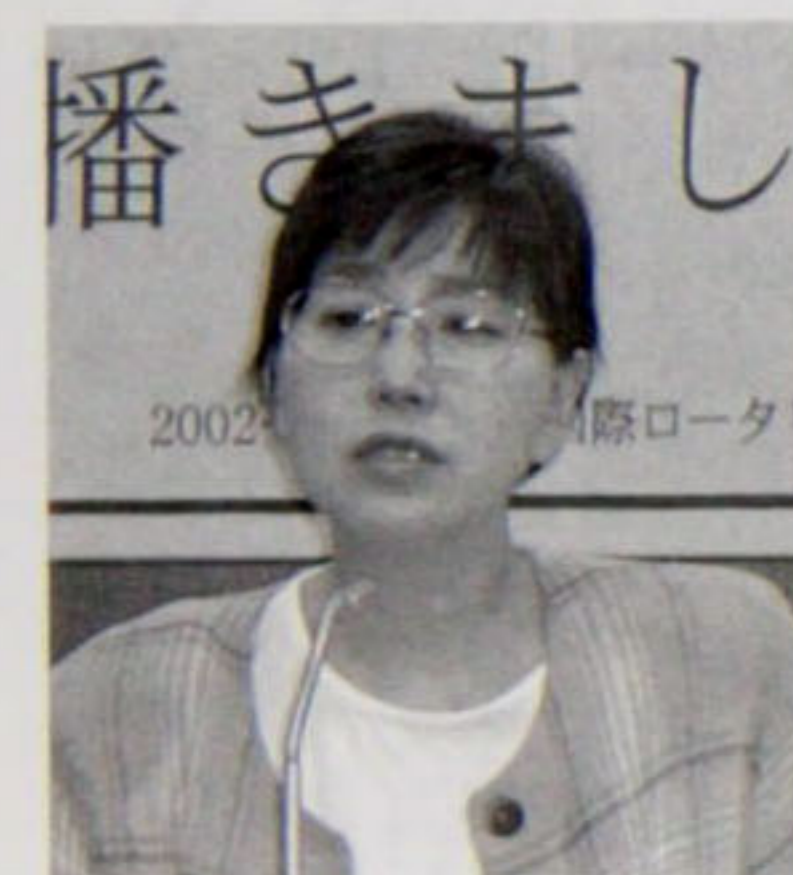
安心で安全だけでいいの

楽しく生きていくために何があればいいか、また考えはじめています。

### 副代表 山谷 幸 様

具体的な活動についてお話をさせていただきます。

人生の浮き沈みとありますが、私たちがやっていて一番切ない思いをする時が、今まで健康で家族も多く過ごしてきた人が病気になった時、家族が少なくなった時なんです。



私たちは、三条市内の病院、燕労災病院とかいろんなところに行きます。家政婦と違って一日ついてるとか、同じ人が行くということではできませんけれども、家族が共倒れになっている例がすごく多いです。

一人暮らしの方で、ほんの少し、例えば少し洗濯物をしてもらえば、自分はちゃんとこの病院にいられる。少しだけ買い物してもらえば、という手助けがないんですね。

そういう時に、病院から、あるいは家族から、また親戚の方から依頼されることが多いんです。

病院をあちこちたらい回しにされて、精神的に不安定になり、朝から何回もナースコールを押されるんです。病院の建前は完全看護なんですけれども、ナースが手薄になるのは朝と夜の時間なんです。今の例は、朝の7時から9時まで2時間行っています。その方はちょっとの手助けでトイレにも行けます。ちょっとの手助けで安定されるんですね。そして、いろんな話をされるんです。自分が病気になったこととか、家族に迷惑をかけたくないとか、そういうことを訴えられる。それで毎日行っています。

その場合、病院のソーシャルワーカーとか、病棟の看護師さんとかと、どこの部門で私たちの手が必要なのかとよく話し合っています。何でも受ける

という助け合いの仕事ではなくて、いくつもの手をもって、いろんな人と手をつなぎ合ってやって行きたいということのためです。

病気が末期癌の方ですが、漢詩が好きで、長野の小諸の方まで行きたいというのです。介護保険ではとても適わないことだし、経済的にもとてもできない。そこでたすけあいの中で、ご家族、親戚の全部の了解を得て、途中で命がなくなっても仕方がない。でも、どうしても漢詩のふるさとへ行きたいんだということで、ネットワークのヘルパーが2人ついて行きました。その方は今年の夏が越せれば、という瀬戸際に立っていますけれども、漢詩を作って会報にも載せています。自分が求めているより良い暮らしをしたいということで、サポートできれば、とそう思っています。

里帰り出産で娘さんが帰って来られ、2番目の子供を産む時に上の子はどこにも出かけられない。そこで1時間だけ事務所にきて散歩に連れて行くなど、ご近所のおばさんがやっているようなことをやっています。

配食サービスを市内2軒でやっています。給食の弁当を配達するだけでなく、痴呆の方とか病院とか社協の方からも依頼があり、安否確認も兼ねています。状態を見てご飯を一杯よそってきたり、全然食べてなく具合が悪いようだったらすぐに事務所に連絡が入り、ご家族の方に連絡を入れる。

緑ヶ丘に「みどりの家」という託老所を設けています。

週1回ですけれども、一人暮らしの方、介護保険を受けていない元気な方、介護保険を受けている方もいます。

そんな方たちは、既存のデイサービスは嫌なのです。ご自分達は一人で全部自立できるわけです。しかし、一人しているとどんどん痴呆になっていく。人との接触する機会がなくなっていく。普通のお茶の間ということで開いています。そこは知的障害、自閉症の子供さんたちも夏休みとか冬休みとかに利用している。

三条市から介護保険の事業者にならないかと勧められているが、認定を受けてしまうと利用する人が限られてしまうので、経済的にはマイナスですが、どうしても必要だということで作っている。

ネットワークにはいろいろなことに対処するため、建築士、社会福祉の分野の人、犬の調教をする人など色々な人がいます。パソコンでネットも結んでいます。パソコンを教えてくれる先生もいます。

素人の集まりですが、色々な人からほんの少しずつ手を貸していただいて、4年目を迎えています。

## 《会員企業 PR コーナー》

### 山田富義 SAA

電気・空調設備 設計施工

株式会社 **山田電気**

〒955-0061 新潟県三条市林町2丁目8番15号  
TEL (0256) 35-1987 FAX (0256) 35-4556  
e-mail:eyamada@sanjo.nct9.ne.jp



くらし、環境、生活スタイルに役立つ、さまざまなコミュニケーションを提案、実施しています。

### 杉山幸英副 SAA

設計・施工

株式会社

**家のスギヤマ**  
三条市塚野目  
TEL 38-0073  
FAX 38-0074  
担当/杉山

世界にひとつ  
貴方の  
オリジナルの **家** を造りませんか

介護用リフォーム 承ります。

福祉住環境コーディネータのいる店

“ロータリー価格有ります”

